

「人口減少社会における公共施設について考える」 第一地区 市民との懇談会を開催しました。

9月18日（水）中央消防署1階講習会室で、住自協役員の皆さまにお集まりいただき「人口減少社会における公共施設について考える」懇談会を開催し、ご意見をお聴きしました（裏面をご覧ください）。開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さま、ありがとうございました。

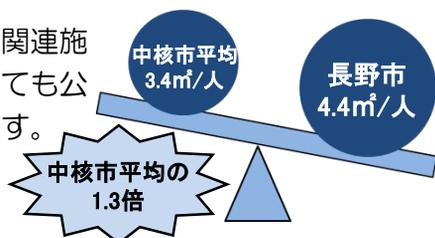
説明会当日の資料は、市ホームページに掲載していますので、こちらをご覧ください。



懇談会では「なぜ公共施設マネジメントに取り組むのか」などについて、市から説明しました。当日説明した内容のポイントをご紹介します。

市民一人当たりの床面積は 中核市平均の1.3倍

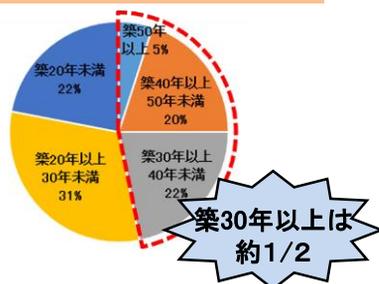
長野市は、オリンピック関連施設などもあり、全国的に見ても公共施設を多く保有しています。



築30年以上経過の老朽化施設が約2分の1

昭和40～50年代の急激な人口増に対応するため造られた施設は老朽化が進んでいます。

オリンピック関連施設も築20年が経過しました。



建物の改修・更新費用は
40年間で約4,000億円

老朽化施設を改修・更新するための費用は、過去5年間と比べると年平均で約1.8倍の予算が必要となります。

人口減少や少子高齢化に伴い、今後も社会保障関連経費の増加や税収の減少が見込まれる中、将来にわたり全ての施設を維持していくことは、困難な状況です。



そこで！

「公共施設マネジメント」の推進

「公共施設等総合管理計画」 平成29年3月策定

基本理念：「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」

- ◆施設を複合化、多機能化しながら、**施設全体の床面積を20年間で20%縮減**を目指します。
- ◆計画的な点検・改修による**施設の長寿命化**を図ります。

「個別施設計画」 令和2年度までに策定します！

- ◆施設分野ごとに**今後10年間の具体的な対策**を定めます。
- ◆個々の施設の維持保全や更新、統廃合などの具体的な対応方針を示します。

計画策定にあたり、各地区で懇談会やワークショップを開催しています！

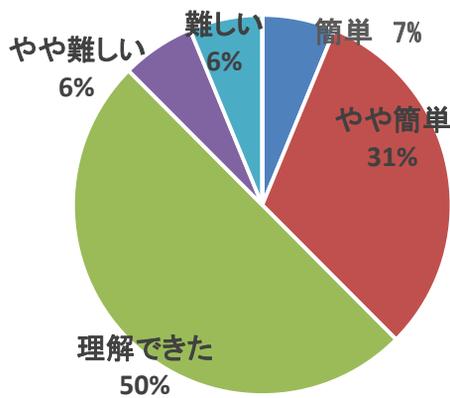


当日の参加者からの主なご意見をご紹介します

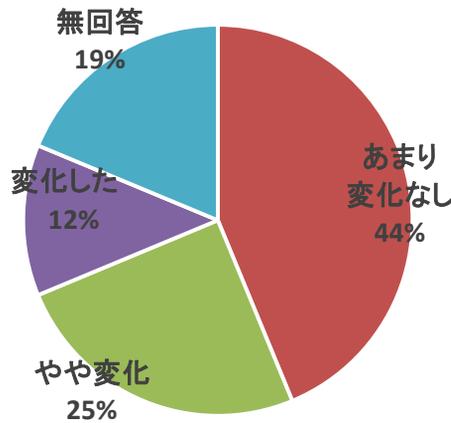
- ◆西部中学校は、数年前と比べると生徒数が減っており、教室があまっているのでは。高校生などが自主学習で使えるように、放課後の教室を貸し出したらどうか。
- ◆地区によって施設にばらつきがある。減らすだけでなく、新しい施設もつくってほしい。公民館の分館はエレベーターがないため使えない。
- ◆総論はそのとおりだと思った。地区それぞれで考えるより、市のまちづくりと一体となって考えていかないと難しいのでは。学校や公民館などは各施設の縛りをなくして地区で使いやすくするべき。

懇談会終了後 参加者アンケート結果 (出席者20名 回答者16名)

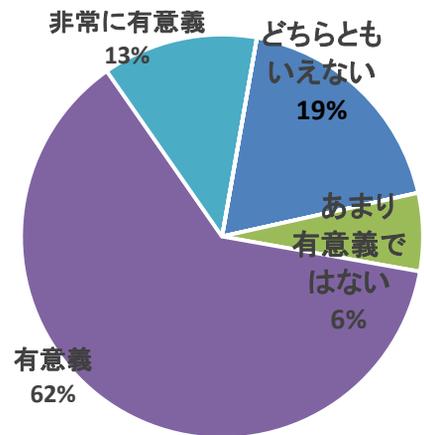
説明内容は
いかがでしたか？



考え方は
変わりましたか？



懇談会全体の内容は
いかがでしたか？



自由記載欄等より

- ◆稼働率の高い施設、低い施設の洗い直しをすべき。今ある施設の有効活用を考えたい。
- ◆第一地区には住民が自由に使用出来る施設が少ない事に気付いた。税金は平等に活用して欲しい。
- ◆人口減少の中、ある程度想像していたが、現実になった気がする。市民の協力体制が必要。新しい考えが求められる。
- ◆将来のことを考えると、大変必要なことである。
- ◆公共施設管理に施設の空きスペース及び未利用時間の状況をつかむといいのでは。
- ◆スクラップ&ビルドの考えは分かるが、地域の必要な施設は無くしてはならない。マスタープランが重要。
- ◆権堂町のイトーヨーカドー廃止のニュースに大変ショックを受けた。近くの住民も大変困惑しているので、その跡に市の主導で何とか商業、公共施設のような物を考慮してもらいたい。
- ◆人が少ない地域には施設が何も無い。更に人が減少する。衰退していく地域こそ、市が手を差し伸べて欲しい。

再編・再配置にあたっては、今回の懇談会などでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまのご意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしく願います。



公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などは、右記お問い合わせ先までお寄せください。
出前講座もやっています！

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

地域活動支援課

電話：224-8570